

事業名	視覚障害者援護費		
細事業名	点字による即時情報ネットワーク事業費	財務コード	080708
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)	3221	

調査番号	40
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 H9 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 視覚障害者	その対象をどのような状態にして 毎日の新聞情報等を迅速に得ることができ る	結果、何に結びつけるのか 社会参加の促進
	内容 日本盲人連合会が入力した「点字JBニュース」を(福)山梨県障害者福祉協会が取得し、その情報を希望者に点字、墨字(拡大文字)、電子メールにより提供する。 ○委託先:(福)山梨県障害者福祉協会 ○委託内容:提供日時 毎週月曜日及び国民の祝日、年末年始(12月28日~1月3日)等を除く年間約260日 提供内容 毎日の新聞ニュースのトピックスなど		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	提供数 (点字、墨字、電子メール)	目標	8,710	8,710	8,710	8,710	8,710	8,710
		実績(見込)	8,712	9,028	8,954	7,953	8,019	8,710
		達成率	100.0	103.7	102.8	91.3	92.1	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		995	943	1,053	1,018	865	921	930

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	概ね目標値に達していることから、十分な活動量があると考えられる。
成果指標	b		当事業の活用により、希望した視覚障害者が迅速に情報を得ることができているため、意図した成果はあげられている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い	
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性 (成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	点字12人、墨字及び電子メール21人と利用者が少数であるため、周知方法を工夫し利用者の増加を図ることで事業の有効性がより高まる。		
見直しの 余地	判断	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (周知方法を工夫し、利用者の増加を図る。)		
その他	説明			
見直しの 必要性	有	事業が広く当事者へ伝わるよう、周知方法を工夫する。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	他事業開催時やイベント(講演会など)において本事業に関する周知活動を実施し、利用者の増加を図る。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。